社協情報

ささえーる こもろ

2026年11月号

社会福祉法人
小諸市社会福祉協議会
〒384-0006 長野県小諸市与良町 6-5-1
TEL0267-25-7337

YouTube　X　Instagram



小諸幼稚園 年長の皆さん

11月号の主な内容

●ふれあいまつり
●有償生活支援サービス始まります
●「未来の福祉を支える人材」育成中
●熊本県氷川町での被災地支援を終えて
●「すいすい・美南パーク」プレオープン
●講師紹介
●譲りあえーる事業
●社協クイズ
●紙の門松

●発行／(福)小諸市社会福祉協議会 ●編集／㈱小諸新聞社 ●印刷／ヨダ印刷サービス㈱

みんなが主役、出会い、
ふれあい、響き合う

ふれあいまつり

飲食

物販

作品展

ステージ発表

12/5(土) 10:00-14:00

小諸市市民交流センター

ステラホール 小諸市相生町3-3-3

エコバック持参、
ゴミの持ち帰りに
ご協力ください









イとイとがつながる　やさしさで和気あいあいと話して知って分かって　豊かと笑顔の一日に



ふれあいまつりとは…
“福祉”をキーワードに、みんなが
楽しい一日を過ごすおまつりです

社会福祉大会と同時開催！

【主催】令和8年度ふれあいまつり実行委員会

ガールスカウト長野県第17団　小諸手話サークル　国際ソロプチミスト小諸　しののめ作業所
おむすび作業所　レインボークローバー　ココトラ　小諸市手をつなぐ育成会　風味堂　小諸学舎
身体障害者施設やまびこ園　みすず幼稚園　ワークポート野岸の丘　はこべ会　小諸市福祉企業センター
モチーフの会　卵の花作業所　愛灯園　にも包括こもろ　小諸市役所　小諸市社会福祉協議会

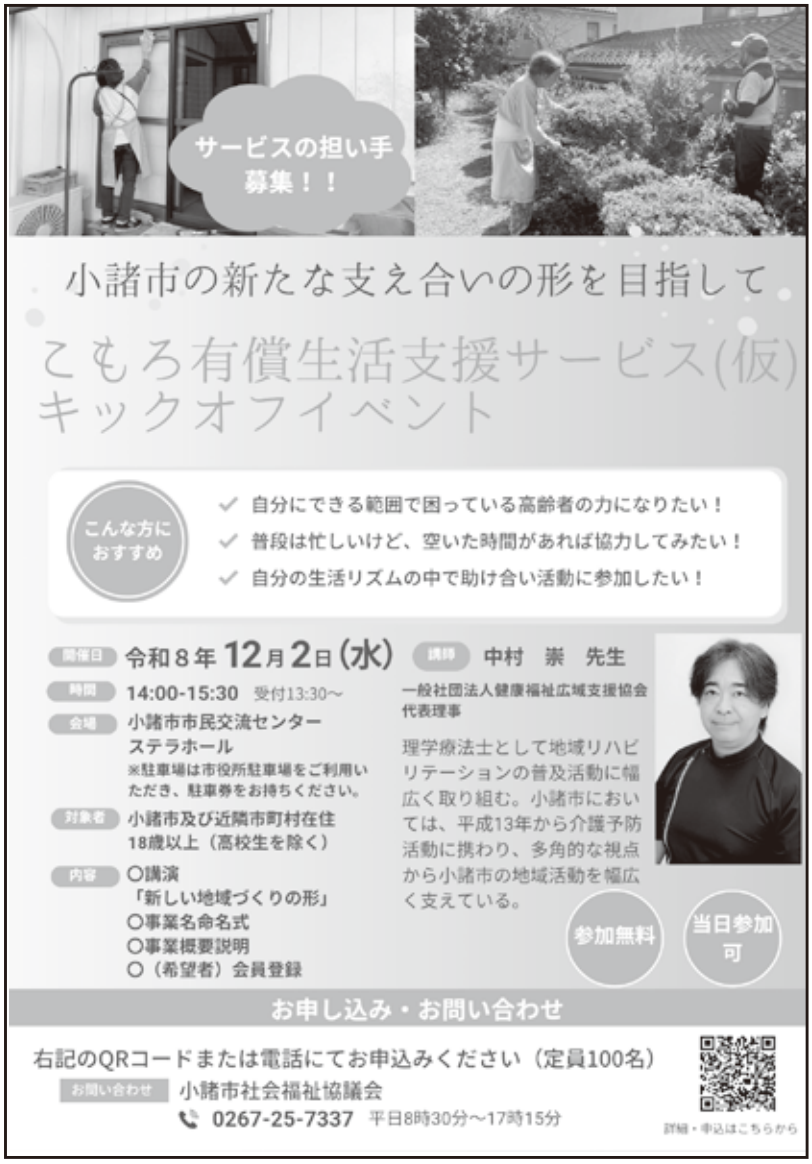
有償生活支援サービス、いよいよ始まります！

住民同士の支え合いで「ちょっとした困りごと」を解決する有償生活支援サービス（仮）が小諸市で本格始動します！

またこの事業の小諸市全体での始まりを祝うセレモニーとして、R8 年 12 月 2 日（水）にキックオフイベントを開催します！地域の支え合いの中で新たに始まるこの有償生活支援サービスがどのようなものなのか、長年小諸市の介護予防活動に尽力いただいている中村崇先生からの基調講演ののち、「有償生活支援サービス」が小諸らしく親しみやすい名前へと生まれ変わる命名式などを予定しております。小諸市の皆様に愛される素敵な名前になるよう、皆様のお知恵を貸してください。当日参加の投票も行いますが、当日不参加の方は右記チラシに回答フォームを記載していますので、命名投票のみでもぜひご参加ください。またキックオフイベントの後には本事業に参加いただける方へ向けての一斉会員登録会（30 分程度）も準備中です。お楽しみに！

小諸市の支え合い、みなさんどんな形で参加しますか？

問合せ：地域福祉係　電話 0267-25-7337



「未来の福祉を支える人材」育成中！

本会では、将来の福祉を担う社会福祉士の育成に毎年取組んでいます。授業だけでは学ぶことのできない「その人らしい生活を支える」という福祉の視点を、実践の中で身につけてもらえるよう、職員一同サポートしています。ここでは実習を終えての学びを紹介します。

様々な専門職から社会福祉士として支援の姿勢を学び、地域住民の方から「小諸史」を聞かせていただきました。私は小諸市で生まれ育ち小諸市が好きなので、今後は学んだことを活かして小諸市の街づくりに関わる仕事をしたいと考えています。（佐久大学　工藤）

この実習では誰もが暮らしやすい街にするために住民の方が主体となった地域づくりを支える仕組みの視点を学ぶことが出来ました。今後は社会福祉士の学びとして、多様な視点を大切にして、大学での学びをより深めていきたいです。（佐久大学　鷹野）

実習を通して社協が地域の方や関係機関へつなぎ、生活を支えていることを学びました。特に虐待について調べ考え、本人だけでなく養護者の背景にも目を向け、双方を支えることの大切さを実感しました。また職員との関わりから知識だけでなく、人と向き合う姿勢や楽しみながら仕事をすることの大切さも学びました。（長野大学　山野）

実習を通して福祉とは困っている人を直接支援するだけではなく、人や地域、資源をつなぎ、誰もが地域の中で支え合える環境をつくることだと学びました。小諸市の皆さんが温かくそれぞれの立場から積極的に関わる姿が印象的でした。今回の経験を今後の学びに繋げ、自分なりの社会福祉士像を考えていきたいです。（長野大学　田中）



写真左から田中さん、山野さん、鷹野さん、工藤さん

熊本県氷川町での被災地支援を終えて



体育館をカーテンで仕切った避難所

令和８年熊本地震に関するDWAT（長野県ふくしチーム）として８月17日から23日まで熊本県氷川町の避難所支援に行ってきました。避難所生活をされている方の困りごとを聞き、必要な機関と連携を図る一週間でした。被災された方は様々な生活上の困りごとを抱えています。佐賀県DWATや災害支援ナースの皆さんと共に支えました。私たちの支援には期間がありますが、被災された方々の生活は今でも続いています。「忘れない」も大切な支援です。（金箱）



避難者情報の集め方の議論



医療保健福祉チームの会議



愛媛県・佐賀県・宮崎県・長野県チーム



災害支援ナースとの協働

ＤＷＡＴ（ディーワット）：Disaster Welfare Assistance Teamの略。日本語では「災害派遣福祉チーム」。大規模な災害が起きたとき、避難所などで高齢者や障がい者などの支援が必要な人を支える専門チームです。

支援当時の現地避難所：小学校の各教室に避難されている中、２学期の開始に向けて避難所の統廃合が進む時期でした。

熊本県氷川町：熊本県中部にある人口約１万人の町、今回の地震で震度７を記録しました。

「すいすい・美南パーク」プレオープン！

「すいすい・美南パーク」は、美南ガ丘小学校の空き教室を利用して地域住民と美南ガ丘小学校が連携し、休み時間に交流するものです。地域住民は、児童との交流を通じて笑顔や元気をいただく社会参加の場となり、児童はいろいろな大人との交流を通じて楽しい学校生活につながることを目指す場です。

９月２日に第１回が開催され、多くの児童が参加していました。チャイムと同時に一斉に児童が集まり、教室内の熱気が急上昇する中で、参加した地域の方々も汗をかきながら児童との交流を楽しんでいました。たった20分間の交流でしたが、１日の体力を全て使い果たすほどの時間でした。それでも、参加した地域の方々は笑顔で「楽しかった」「児童たちとの関わりが無かったから笑顔を見れて元気をもらえた」など、前向きな感想が上がりました。

学校と地域住民との交流の場を小諸市社協も応援していきます！



講師紹介コーナー

小諸市社協に登録されている講師の方をご紹介します！

小林美智子さん
（愛唱歌講師、ピアノ講師、合唱団小諸ハーモニー所属）



小諸市出身。音楽との出会いは４歳。近所にピアノ教室があり、通い始めたそうです。

佐久市（旧：望月町）の公民館活動「愛唱歌合唱講座うたごえホール」で講師依頼を受けた活動は27年になり、現在も多くの方が参加されています。講座を通してたくさんの歌との出会いがあったそうです。「皆さんから教えてもらった歌が、財産になっています」と小林さん。

現在は、小諸市、佐久市、東御市などで活動。介護予防教室の講師、ピアノ講師のほか、ブライダルでの演奏（歌・ピアノ）と、幅広く音楽に携わっています。

小諸市社協では、「愛唱歌」の講師として登録しています。学校で教えてもらった唱歌や自由な感性で作られた懐かしい童謡、ラジオ歌謡、フォークソング、歌謡曲、時には演歌など、思い出を語り合いながら楽しく歌っています。

小林さんは、歌の魅力について、こう話します。

「歌を歌うって、全身を使います。歌うのは気持ちが良いです。一人で歌うのも良いですが、みんなで歌うのはもっと楽しいですよ。『歌うのはちょっと恥ずかしい』『うまくできないから』と思わずに、ぜひ気兼ねなく参加してほしいです」

歌は、心を元気にし、人と人をつなぐきっかけにもなります。

あなたにとっての「愛唱歌」は、どんな歌ですか？ぜひ皆さんの、思い出の歌を教えてください。そして一緒に歌いましょう。

譲りあえーる事業

★譲ります★

用具名
座卓
土付き盆栽用植木鉢
ピアノ
漬物石 15kg × 2 個
油圧ジャッキ（2 トン）
リビングこたつ
木製踏み台スツール
ベビーベッド（木製）
クーハン

★譲ってください★

用具名
CD プレーヤー
トラクター
二層式洗濯機
シルバーカー
介護用ベッド

☆「譲ります」側の方と「譲ってください」側の方の情報のみをマッチングします。
　両者が揃うまでに時間を要します。マッチング成立まで、現品は「譲ります」側の方で保管して頂きます。また現品の受け渡しは当事者同士で行って頂きます。
☆電気製品の安全と品質確認は「譲ってください」側の方の責任でお願いします。

●譲りあい商品
・壊れていないもの
・無償で譲渡するもの
・用具によっては未使用なものに限ります

●問合せ先：
地域福祉係　電話 0267-25-7337

（6 ヵ月過ぎても残っている案件は、この「ささえーるこもろ」からは削除致しますが、ホームページには継続して紹介しています。また、登録頂いている全ての写真も掲載しています。）

寄付

お心遣いありがとうございます

順不同
敬称略

（令和８年８月～９月受付分）

◇社協受付分（敬称略）

塩川亘、佐久地区労働者福祉協議会、柳沢ヒデ子、岩崎節子、吉澤美雪、工藤一花、竹内孝栄、匿名

（寄付内容：食糧品、未使用日用品、現金）

編集後記

朝晩の冷え込みが増え、少しずつ冬の気配を感じるようになりました。

寒くなると、外に出るのがおっくうになったり、家で過ごす時間が増えたりします。そうすると、近所の人と顔を合わせたり、何気ない会話をしたりする機会も減っていくのかもしれません。

「顔の見える関係」という言葉があります。顔を知っているからこそ、「最近見かけないけど、どうしたのかな」「いつもと少し様子が違うな」と、ちょっとした変化に気づくことができます。そう考えると、地域の見守りは、特別な活動だけを指すものではなく、「おはようございます」とあいさつをする。少し立ち話をする。「最近どう？」と声をかける。そんな何気ないやりとりの積み重ねが、「何かあったときに気づける関係」につながっていくのだと思います。

これから寒さが厳しくなり、人とのつながりも希薄になりやすい季節です。

まずは身近な人に「元気？」と声をかけるところから。私も、日々の小さなつながりを大切にしながら、冬を迎えたいと思います。

社協クイズ

正解者の中から抽選で３人の方に図書カードをプレゼント！
当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

Q.11 月に制定されている記念日はどれでしょう？

①ポッキーの日　　②ピザの日　　③フライドチキンの日

●応募方法：クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、社協へのご意見・ご要望、ささえーるこもろの感想を添えて応募先まではがきかメールでお送りください。

●応募締切：11 月 30 日（月）必着
●応募先：〒 384-0006 小諸市与良町 6-5-1
「小諸市社会福祉協議会広報委員会」宛
●E メール　k-syakyo@ctknet.ne.jp

（９月号の答え）③

ご活用ください

「紙の門松」

裏面を切り取ってご活用ください。

小諸市社会福祉協議会、小諸市共同募金委員会

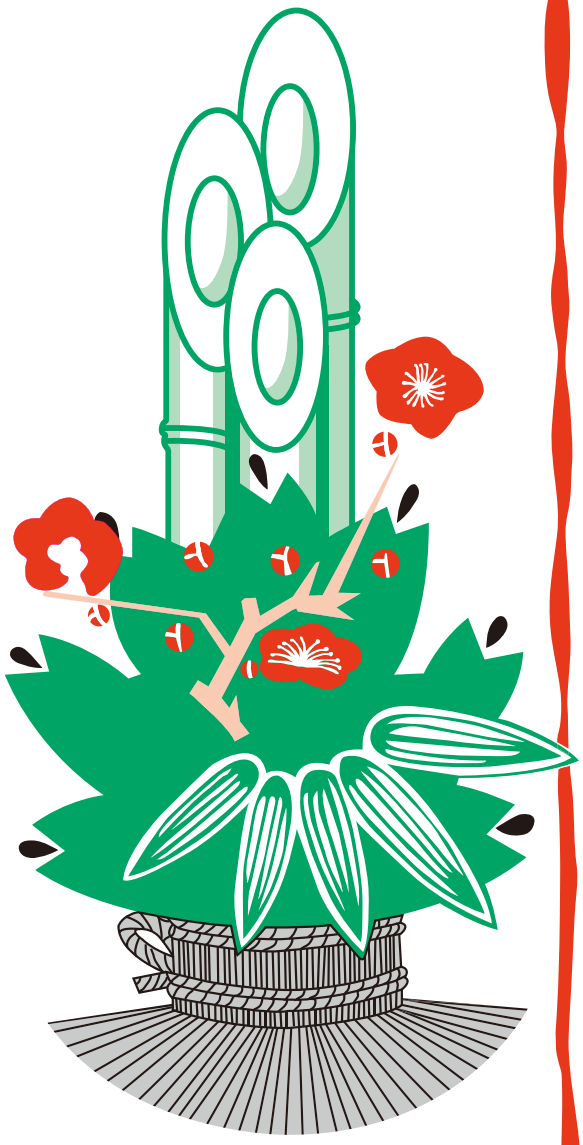
ご活用ください

「紙の門松」

切り取ってご活用ください。

小諸市社会福祉協議会、小諸市共同募金委員会

賀正



社会福祉法人 小諸市社会福祉協議会
小諸市共同募金委員会

賀正



社会福祉法人 小諸市社会福祉協議会
小諸市共同募金委員会